



## Oracle Financial Consolidation and Close Cloud

2017 年 12 月 (17.12)

*更新情報*

## 目次

目次.....	2
変更履歴.....	3
ORACLE FINANCIAL CONSOLIDATION AND CLOSE CLOUD (12 月更新) .....	3
<b>更新情報.....</b>	<b>3</b>
Oracle Cloud Customer Connect のご案内 .....	3
月次更新スケジュール .....	3
<b>高度な連結機能.....</b>	<b>4</b>
前期の利益剰余金の期首残高計算 .....	5
データ管理におけるメタデータのロード.....	5
計算マネージャの新規カスタム関数 .....	6
計算マネージャの新規設計時プロンプト関数 .....	6
Smart View における補足データ・セットのサポート.....	6
OFFICE パージョン向け新規 SMART VIEW .....	7
新規 EPM スタート・ガイド.....	7
ドキュメントに対するフィードバックのお願い.....	8
<b>サポートの終了について.....</b>	<b>8</b>
クラシック・ディメンション・エディタ.....	8
Oracle Fusion Financials Cloud とデータ管理のファイルベース統合 .....	8
<b>修正された不具合 .....</b>	<b>9</b>
<b>考慮事項.....</b>	<b>10</b>
ディメンション・エディタからの基本メンバーの追加 .....	10
Smart View .....	10
データのコピーおよびクリア.....	11
純利益および利益剰余金の現在の勘定科目に対する CTA 計算の変更点 .....	11
包括所得 CTA 勘定科目.....	11
セルフサービス・アップグレード.....	11
FCCS 金額上書きおよびレイト上書きの勘定科目 .....	11
データ収集期間の日付の編集.....	12
ICP プロパティを使用したエンティティ・メンバー名および別名 .....	12
メタデータの操作について .....	12

## 変更履歴

このドキュメントは、既存のセクションの変更および新しい情報の追加により、更新され続けます。すべての更新を次の表に示します。最新の更新情報が先頭に記載されています。

Date	Feature	Notes
2017 年 11 月 23 日		初版リリース

※内容の変更につきましては、当ドキュメント(翻訳版)への反映が遅れる場合があります。以下のオリジナル版(英語版)が最新となります。

[https://cloud.oracle.com/en\\_US/fcc-cloud/releasereadiness](https://cloud.oracle.com/en_US/fcc-cloud/releasereadiness)

## ORACLE FINANCIAL CONSOLIDATION AND CLOSE CLOUD (12 月更新)

このガイドでは、近日公開される Oracle Financial Consolidation and Close Cloud のリリースにおける最新情報と修正された問題点の概要について説明します。

### 更新情報

#### ORACLE CLOUD CUSTOMER CONNECT のご案内

EPM Cloud サービスをご利用のお客様は、ぜひ Cloud Customer Connect フォーラムへご参加ください。Oracle Cloud Customer Connect は、共通のゴールや目的について、メンバー同士が交流したり共同作業したりする場を集めたコミュニティ・サイトです。ここでは、最新のリリース情報や、イベントのご案内、またはユースケースの質問に対する回答などをご覧いただくことができます。登録には数分もかかりません。皆様のご参加をお待ちしております。

<https://cloud.oracle.com/community>

注記: 「設定およびアクション」メニューに、「Cloud Customer Connect」へのリンクが含まれるようになりました。このリンクにアクセスするには、ホームページから画面の右上にあるユーザー名の横にある下矢印をクリックし、「Cloud Customer Connect」を選択します。

#### 月次更新スケジュール

オラクルでは、本サービスの最新の更新を、テスト環境へは 2017 年 12 月 1 日(金)、本番環境へは 2017 年 12 月 15 日(金)の 14:00(PDT 米国太平洋標準時 UTC-7)より適用を開始します。この更新は適用後の最初の日次メンテナンス中に実施されます。

また 2017 年 12 月 1 日より Oracle Help Center で、最新のドキュメントをご覧いただくことが可能です。

**注記:** バックアップ・スナップショットは、同一のバージョン、先行のバージョンまたは次のバージョンの環境にインポートすることができます。たとえば、17.08 のバックアップ・スナップショットを 17.07 や 17.09 のサービス・インスタンスにインポートすることができます。移行に関する詳細については、「*Administering Migration for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」を参照してください。

## 高度な連結機能

この更新には、次の「高度な連結」機能が備えられています。

- **出資比率の管理**

出資比率の管理は、シナリオごと、年ごと、および期間ごとの各エンティティ階層へのグローバル連結設定とそれらの連結設定のアプリケーションを管理することから構成されています。連結メソッドの追加や変更、出資比率の割合の割当、出資比率データの再計算、さらにコンマ区切りのファイルからの出資比率データのロードが可能です。この詳細については、「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Managing Ownership」を参照してください。

**注記:** 既存のアプリケーションの「出資比率の管理」を有効化する前に、新しいシード済メンバーとの競合を避けるため、移行に関する考慮事項を検討する必要があります。この詳細については「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Enabling Ownership Management in Applications」を参照してください。

- **削除対象の新規メンバー**

「出資比率管理」が有効な場合、システムでは「連結」および「データ・ソース」ディメンションに削除対象の新しいシード済メンバーが提供されます。この詳細は「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Enabling Ownership Management in Applications」を参照してください。

- **連結での新規システム・ルール**

次のハードコードされたシステム・ルールが、「高度な連結」をサポートするために追加されました。

- 子会社への投資(持株会社のメソッド)
- 所有者の資本(子会社/比例メソッド)
- 所有者の資本(持株会社のメソッド)

これらのルールセットでは、子会社のメソッド(少数株主持分を認識)または比例メソッドにより連結されているかどうかにかかわらず、子会社における持株会社の投資とその所有会社の所有者の資本の間の基本調整および消去の両方またはいずれか一方を提供します。

この詳細については、「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「System Consolidation Rules」を参照してください。

高度な連結を使用するには、「会社間」ディメンションと「会社間消去追跡」の両方を有効にする必要があります。これらが有効になっていない場合は、出資比率管理や新しいハードコードされた連結ルールなどの高度な連結機能は表示されません。

さらに、「勘定科目」、「増減」、「連結」および「データ・ソース」のディメンションに新規メンバーが追加されました。

「出資比率管理」機能が有効になっている場合は、「連結」ディメンションの「比例」メンバーを再入力するために、アプリケーション内の既存データをすべて再連結する必要があります。

この詳細については、「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Application Feature Descriptions」および「Enabling Ownership Management in Applications」を参照してください。

### 前期の利益剰余金の期首残高計算

---

「前期の利益剰余金」勘定科目の期首残高計算が更新されました。「利益剰余金」の「期首残高」は、年度の第 1 期間、各年度の YTD メンバー、および第 1 四半期の QTD メンバーの前年度末からの「利益剰余金合計」です。その他のすべての表示と期間については、「期首残高」は QTD の期間および四半期の「前期の利益剰余金」の「期末残高」から差し引かれます。この詳細については「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Built-in Calculations」を参照してください。

### データ管理におけるメタデータのロード

---

「データ管理」はフラットファイルからのメタデータのロードをサポートするようになりました。お客様はこの機能を使用して、すべてのソースからあらゆるフォーマットでメタデータ・ロード・ファイルを作成し、メタデータを EPM Cloud 環境にロードすることができます。このアプローチを使用すると、ユーザーはロードまたはマッピング処理中にプロパティのデフォルトを設定することができます。この月次更新では、メタデータのロードには標準、カスタム、および「Smart List」ディメンションのみがサポートされており、この機能は次のサービスのみでサポートされています。

- Oracle Planning and Budgeting Cloud
- Oracle Enterprise Planning and Budgeting Cloud
- Oracle Financial Consolidation and Closing Cloud
- Oracle Tax Reporting Cloud

この詳細については、「*Administering Data Management for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「Integrating Metadata」を参照してください。

### 計算マネージャの新規カスタム関数

---

5つの新規カスタム関数が「計算マネージャ」に追加されました。既存関数が正の数値のみを返すのに対し、新規関数は計算結果に応じて正の数値または負の数値のいずれも返すことができることから、これらの新規関数は、既存関数に対応しているものとなります。新規関数(およびそれらに対応する既存関数)は次のとおりです。

既存関数	新規関数
@CalcMgrDateDiff	@CalcMgrDiffDate
@CalcMgrYearsBetween	@CalcMgrYearsDiff
@CalcMgrMonthsBetween	@CalcMgrMonthsDiff
@CalcMgrDaysBetween	@CalcMgrDaysDiff
@CalcMgrWeeksBetween	@CalcMgrWeeksDiff

それぞれの関数に関する詳細な説明については「*Designing With Calculation Manager for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「Date/Time Functions」を参照してください。

### 計算マネージャの新規設計時プロンプト関数

---

新しい「@Length」設計時プロンプトが「計算マネージャ」でご利用いただけるようになりました。「@Length」はテキストの長さを返します。

この詳細については、「*Designing With Calculation Manager for Oracle Enterprise Performance Management Cloud*」の「About Design-Time Prompt Functions」で「@Length」を参照してください。

### SMART VIEW における補足データ・セットのサポート

---

Smart View で「補足データ・セット」ダッシュボードを使用できるようになりました。Smart View で接続を作成すると、データ・セット内の補足データの表示やフィルタリングができます。Smart View で作業するには、「決算および補足データ管理」の「Smart View 拡張機能」をダウンロードする必要があります。

この詳細については、「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Working with Supplemental Data in Smart View」を参照してください。

## OFFICE バージョン向け新規 SMART VIEW

---

Smart View for Office 11.1.2.5.720 が 12 月初頭よりご利用いただけるようになります。このバージョンには次のような新機能が備えられています。

- 分かりやすい名前ではなく、「HypUIConnect」での接続文字列の使用をサポート。わかりやすい名前は引き続きサポートされます。
- 強化された拡張機能の更新ワークフローにより、更新された拡張機能のダウンロードをチェックするサーバーやサービスの選択が可能
- 1 回の操作で複数の次元からカスケード
- ビジネス・ルール・テンプレートの実行が可能
- 「HsGetValue」を使用した追加のデータ型のサポート: Smart Lists、テキスト、および日付
- フォーム上の浮動ツールバーの表示を抑制するオプション
- フォームおよびアドホック・グリッドのセルの列幅と行の高さを自動的に変更するオプション

このリリースではいくつかの不具合も修正されています。

リリース時点の Help Center にある Smart View 11.1.2.5.720 Readme には、このバージョンで対処された機能と不具合の全リストが備えられています。このバージョンをインストールして、2017 年 12 月の更新機能との互換性を確保し、新機能にアクセスしてください。この詳細な説明については、「*Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Users*」の「Downloading and Installing Clients」を参照してください。

## 新規 EPM スタート・ガイド

---

この更新からは、すべての EPM Cloud Services の「サービス管理者」とエンド・ユーザーの「スタート・ガイド」情報を、次の新規ガイドから入手することができます。

- Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Administrators
- Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Users

「*Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Administrators*」には、「サービス管理者」が EPM Cloud Services で実行できるタスクに関する情報が記載されています。すべての EPM Cloud サービスの共通管理情報を提供するこのガイドが、ユーザーとロールの管理、シングル・サインオンの設定、環境のバックアップと復元など、EPM Cloud 管理に関連するタスクについての主要なソースになりました。このガイドでは、以下のガイドの内容を参照することができます。

- Using Oracle Planning and Budgeting Cloud
- Getting Started with Oracle Financial Consolidation and Close Cloud
- Getting Started with Account Reconciliation Cloud for Administrators
- Getting Started with Oracle Profitability and Cost Management Cloud for Administrators

- [Getting Started with Oracle Tax Reporting Cloud](#)
- [Getting Started for Administrators for Oracle Enterprise Performance Reporting Cloud](#)

「*Getting Started with Oracle Enterprise Performance Management Cloud for Users*」では、エンド・ユーザーに Oracle EPM Cloud を導入し、迅速に習熟できるようにするための情報を提供します。このガイドでは、以下のガイドの内容を参照することができます。

- [Getting Started with Account Reconciliation Cloud for Users](#)
- [Getting Started with Oracle Profitability and Cost Management Cloud for Users](#)
- [Getting Started for Users for Oracle Enterprise Performance Reporting Cloud](#)

ユーザーがこれらのガイドにアクセスできるように、Cloud Help Center と Oracle Learning Library のリンクが変更されました。これらの新しいガイドが提示されるように、個人のブックマークとショートカットを変更してください。

### ドキュメントに対するフィードバックのお願い

---

オラクルでは、更新情報や製品情報のドキュメントのコンテンツの改善に向けた、お客様からのご意見やご提案を募集しています。[EPMdoc\\_ww@oracle.com](mailto:EPMdoc_ww@oracle.com) まで、フィードバックをお寄せください。Eメールの本文または件名に、お問い合わせまたはフィードバックのいずれかを記載し、該当の EPM Cloud サービスおよび月次更新サイクルを指定してください。

## サポートの終了について

### クラシック・ディメンション・エディタ

---

2018 年 2 月 (18.02) の更新では、「ナビゲータ」の「ディメンション」リンクが、17.05 更新 (5 月更新) でリリースされた「簡易ディメンション・エディタ」にリンクされます。したがって、2018 年 2 月 (テスト環境へは 2018 年 2 月 2 日、本番環境へは 2018 年 2 月 16 日) の更新をもって「クラシック・ディメンション・エディタ」のサポートは終了となります。

「簡易ディメンション・エディタ」の使用方法的詳細については、「*Administering Oracle Financial Consolidation and Close Cloud*」の「Editing Dimensions」を参照してください。

### ORACLE FUSION FINANCIALS CLOUD とデータ管理のファイルベース統合

---

Oracle Fusion Financial Cloud の Budgetary Control and Encumbrance Accounting が、データ管理と完全に統合されました。

この拡張により、Oracle Fusion Financials Cloud と Oracle Enterprise Performance Management Cloud が統合され、現在の標準のファイルベース統合と同等の機能をご利用いただけるようになります。結果として、ファイルベース統合は 9 月の更新より段階的に廃止されます。

オラクルでは、お客様が Oracle Fusion Financials Cloud と Oracle Enterprise Performance Management Cloud 間のファイルベース統合をご利用の場合、速やかにこの新しい統合を採用されることを推奨します。

## 修正された不具合

更新がテスト環境に適用された際の最新情報については、このリストを再度ご確認ください。

不具合番号	摘要
26453193	「別名」で新しいメンバーを作成し、「データのコピー」または「データのクリア」を選択した際に、ダイアログ・ボックスが正しく表示されるようになりました。
27033732	仕訳レポートを実行する際に、「仕訳の説明」列が正しく表示されるようになりました。
26453193	データをコピーまたはクリアする際、メンバーに別名がない場合、空のダイアログが表示されなくなります。
26968673	大量のデータが正常にクリアされるようになりました。
26645082	「承認管理」ページをフォームで起動する右クリック(アクション)メニューの作成が、設定どおりに機能するようになりました。
26940771	多数の属性ディメンションを含むアプリケーションに対応するために、スクロールバーで「フォーム・レイアウト」の行と列にディメンションをドラッグ・アンド・ドロップできるようになりました。
25985928	グラフの動的範囲が、Financial Reporting Web Studio と Financial Reporting Studio デスクトップ・クライアント版の両方で同様に機能するようになりました。(これまで、データセットに基づいて y 軸の範囲を変更するように設定されたレポートで、データ範囲が広すぎる、または狭すぎるグラフが作成されていました。)
26478186	Financial Reporting Web Studio を使用してアップロードされたカスタム・フォントが正しく保存されるようになりました。
26719130	Financial Reporting Web Studio の「リポジトリの検索」でレポートを実行する際のセキュリティの問題が修正されました。(これまで、「Apply Application Security to FR POV and Prompt」が「true」に設定されている場合、階層全体の確認が可能でした)。

不具合番号	摘要
26759004	Financial Reporting Web Studio のチャートにラベルを追加できるようになりました。
26975317	Financial Reporting Web Studio から Excel に複数のレポートをエクスポートしてレポートを HTML 形式で表示する場合、エラーは発生せず、レポートが正しく表示されるようになりました。
26995802	Financial Reporting Web Studio では、メンバー選択を使用する勘定科目の選択が正常に機能するようになりました。
27045036	複数のグリッドがある「Financial Reporting」レポートの HTML プレビューが正しく表示されるようになりました。

## 考慮事項

### ディメンション・エディタからの基本メンバーの追加

「ディメンション・エディタ」から基本メンバーを追加し、「データ・ストレージを共有しない」プロパティを選択すると、システムは「動的計算」プロパティを適用し、メンバーは読み取り専用になります。この問題を回避するには、メタデータ・ロードを使用してメタデータをロードするか、「共有しない」プロパティで Smart View からメンバーを追加します。このような場合、ストレージ設定は変更されず、メンバーにデータを入力することができます。

## SMART VIEW

### サマリーのダイアログの表示

Internet Explorer では、Smart View の「サマリーを開く」ダイアログを使用すると問題が発生することがあります。この問題を回避するには次のいずれかを実行してください。

- キーボードの矢印キーで「サマリー」ダイアログを選択して、閉じてから再度開く
- 「サマリー」ダイアログを最小化してから再度開く
- 別のブラウザを使用する

### FIREFOX ESR 52.4.2 で SMART VIEW をご利用の場合

Mozilla Firefox では、Smart View などの XUL ベースのアドオンのサポートが終了しました。Firefox の最新バージョンでは、新しい Web 拡張子のテクノロジーで構築されたアドオンと拡張機能のみが機能するようになります。このため、Smart View 11.1.2.5.710 および最新バージョンでは Firefox の ESR 52.4.1 までのバージョンのみがサポートされます。引き続き Smart View 11.1.2.5.710 で Firefox を使用される場合は、Firefox のブラウザをアップグレードしないでください。

Firefox のブラウザが自動的に更新をインストールするように設定されている場合、設定を「Check for updates, but let me choose whether to install them. (アップデートを確認しますが、インストールするかどうかは選択します。)」に変更することを、オラクルでは推奨しています。

## データのコピーおよびクリア

---

共有エンティティのクリアを施行する場合、基本エンティティとすべての共有エンティティはクリアされません。この問題を回避するには、すべての共有エンティティをクリアするためにプライマリ・エンティティをクリアしてください。

データをコピーまたはクリアする際、どのメンバーにも別名がない場合は空白のダイアログが表示されることがあります。この問題を回避するには、任意のメンバーに別名を追加してください。

## 純利益および利益剰余金の現在の勘定科目に対する CTA 計算の変更点

---

2017 年 8 月更新 (17.08) では、シード済の「純利益」階層に、「純利益」の兄弟として「Retained Earnings Current - Opening Balance - FX-CTA」という新規メンバーが含まれています。この新規メンバーに対して、「期首残高」計算が実行されるようになります。新規メンバーは、アップグレード・プロセスで自動的に追加されます。この変更のため、まだ連結が完了していない場合は、連結プロセスを実行して実測データを連結させてください。

## 包括所得 CTA 勘定科目

---

勘定科目を「CICTA Redirection Account」として割り当てた場合、アップグレード後に選択した「Redirection」勘定科目属性は失われます。

包括所得 CTA 勘定科目 (CICTA) を設定して CTA 調整をキャプチャした場合、CICTA 値はエンティティおよび親通貨以外のレポート通貨に正しく変換されません。

## セルフサービス・アップグレード

---

この更新では、「アプリケーション・コンテンツのアップグレード」の設定を使用しないことが強く推奨されています。「日時メンテナンス」で新しい「アップグレード」画面をご利用いただけますが、この機能は完全なものではありません。

## FCCS 金額上書きおよびレート上書きの勘定科目

---

アプリケーションに履歴アカウントが定義されていない場合、シード済の「FCCS\_Amount Override」および「FCCS\_Rate\_Override」の勘定科目に共有メンバーが含まれなくなり、データベースの更新時にエラーが発生します。

これを回避するためには、プレースホルダ勘定科目を追加してください。

「FCCS\_AmountOverride\_Placeholder\_Account」および「FCCS\_RateOverride\_Placeholder\_Account」の両方またはいずれか一方を「FCCS\_Balance Sheet」に追加します。「FCCS\_AmountOverride」プレースホルダ勘定科目に「履歴金額上書き」の為替レートを割り当て、「FCCS\_RateOverride」プレースホルダ勘定科目に「履歴レート上書き」の為替レートを割り当てます

### データ収集期間の日付の編集

---

「補足データ」の「データ収集期間」では、「開始日」、「終了日」、および「クローズ日」を編集すると、日付が有効範囲外になるエラーが発生する可能性があります。

### ICP プロパティを使用したエンティティ・メンバー名および別名

---

ICP プロパティを有効にして「エンティティ」を作成する場合は、メンバー名の最大文字数を 80 文字ではなく 76 文字までにすることで、ICP 接頭辞が使用できるようになります。

### メタデータの操作について

---

次の考慮事項にご注意ください。

- 次のようなメタデータの変更は実行しないでください。
  - 親メンバーに仕訳が転記された基本メンバーの変更（親エンティティで仕訳が有効なエンティティ・ディメンション以外）

これらのメンバーに転記された仕訳または「補足データ」がある場合、これらの変更は、仕訳へのアクセスまたは既存の仕訳のインポートの際に問題を引き起こす可能性があります。

- Financial Consolidation and Close Cloud で「Smart View」のアドホック・グリッドを使用する場合は、グリッドにルート「期間」メンバーを追加しないでください。ルート「期間」メンバーが、「Remove Only」をクリックするか、アプリケーションにある期間を選択してから「Keep Only」を選択して削除してください。「期間」メンバーがグリッドに残っている場合、変更を加えたデータにより、「エンティティ」のインパクト・ステータスが正しく設定されなくなります。

---

Copyright © 2017 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group.

## Integrated Cloud Applications & Platform Services

17.12